

刑法特講Ⅱ

科目ナンバリング CRL-306
選択 2単位

久保田 隆

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、重要な(裁)判例を題材に、1・2年次に学んだ刑法総論・刑法各論について、より深く学んでいきます。秋期の「刑法特講Ⅱ」では、刑法各論の重要論点に関する(裁)判例を中心に扱います。

2. 授業の到達目標

- ①刑法各論に関する主要な論点について、(裁)判例の内容を踏まえながら説明できる。
- ②刑法各論に関する最新の論点について、私見とその論拠を述べることができる。

3. 成績評価の方法および基準

学期末試験(90%)および授業への貢献度(10%)によって評価します。授業への貢献度については、授業態度や担当教員からの質問への応答などをもとに判断します。

4. 教科書・参考文献

教科書

十河太郎＝豊田兼彦＝松尾誠紀＝森永真綱 『刑法各論判例50!』 有斐閣

山口厚＝佐伯仁志(編) 『刑法判例百選Ⅱ(第7版)』 有斐閣

成瀬幸典＝安田拓人＝島田聡一郎(編) 『判例ブラクティス刑法Ⅱ 各論』 信山社

岩間康夫＝塩見淳＝小田直樹＝橋田久＝高山佳奈子＝安田拓人＝齊藤彰子＝小島陽介 『ケースブック刑法(第3版)』 有斐閣

参考文献

井田良＝佐藤拓磨(編著) 『よくわかる刑法(第3版)』 ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

毎回授業の最後に翌週の授業の内容を予告しますので、上記教科書の該当箇所(特に、事案の概要)を読んで予習してください。刑法各論について簡単に復習したいという人には、上記参考文献の該当箇所を一読することをお勧めします。

6. その他履修上の注意事項

- ・「刑法各論Ⅰ・Ⅱ」をすでに履修済みであることを前提に授業を進めます。
- ・授業では、レジュメを配布します。
- ・六法を毎回必ず(!)持参してください(小型のもので構いません)。
- ・質問や相談は授業後の休み時間に受け付けます。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション 春期の復習|刑法各論の全体像
- 【第2回】 生命・身体に対する罪① 生命の保護(胎児性致死傷|殺人罪と自殺関与罪)
- 【第3回】 生命・身体に対する罪② 身体の保護(暴行によらない傷害|同時傷害の特例)
- 【第4回】 自由・名誉に対する罪① 略取・誘拐罪|住居侵入罪
- 【第5回】 自由・名誉に対する罪② 名誉毀損罪|業務妨害罪
- 【第6回】 自由・名誉に対する罪③ 強制わいせつ罪|補論:性犯罪に関する近時の法改正
- 【第7回】 財産に対する罪① 窃盗罪
- 【第8回】 財産に対する罪② 強盗罪
- 【第9回】 財産に対する罪③ 詐欺罪
- 【第10回】 財産に対する罪④ 横領罪・背任罪
- 【第11回】 財産に対する罪⑤ 盗品関与罪|毀棄・隠匿罪
- 【第12回】 社会的法益に対する罪① 公共の安全に対する罪(放火の罪)
- 【第13回】 社会的法益に対する罪② 公共の信用に対する罪(文書偽造の罪)|風俗に対する罪(わいせつ電磁的記録送信頒布罪)
- 【第14回】 国家的法益に対する罪 国家の作用に対する罪(公務執行妨害罪|賄賂の罪)
- 【第15回】 秋期のまとめと期末試験